

ハルウエー  
オスロより

2025春篇 シアターX<sup>カイ</sup> 演劇詩Ⅱ  
2025 Dramatic Poem Project 2

GRUSOMMETENS TEATER  
presenterer

グルソムヘテン劇団

RED  
赤い秋

作・演出 ラーシュ・オイノ  
出演 ハンナ・ディザラ

2025年

4月10日(木)～13日(日)

劇場 東京両国 シアターX<sup>カイ</sup>





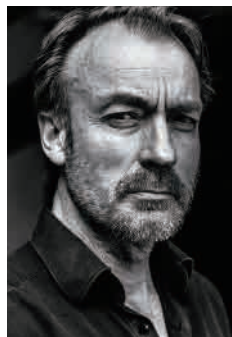
# 2025春篇 シアターX 演劇詩Ⅱ

2025 Dramatic Poem Project 2

ノルウェー・オスロより

グルソムヘテン劇団 GRUSOMMETENS TEATER

## 赤い秋



**演出**  
ラーシュ・オイノ  
Lars Øymo 1955 生。  
アントナン・アルトーに触発された  
身体演劇のインディペンデントの  
劇団グルソムヘテンを1992年オス  
ロで創立。オスロ国立芸術学校  
卒業。俳優・演出家。

**出演**  
ハンナ・ディザラ  
Hanne Dieserud



**演奏**  
バネッサ・イザベル・ブラック  
Vanessa Isobel Black

『赤い秋』は、ノルウェーの作家ラグンヒルド・ヨルセン (1875-1908) の最後の未完の小説のタイトルです。彼女は現代のボヘミアンであり自由奔放な人で、その作品を通じて女性の情熱と心の葛藤を表現しました。そのような視点が聞かれなかった時代にノルウェー文学に新しい表現形式を確立しました。

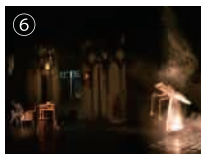
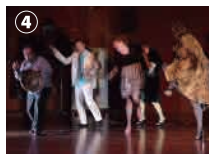
このパフォーマンスで語られるのは自然です。彼女が育ったエネバックの森はインスピレーションの源でした。樹の幹の間の静寂の中に、男性原理によって停滞した世界に挑戦する力がありました。

ラグンヒルド・ヨルセンは詩を通して、技術の進歩と現代社会の価値観とで私たちが失ったものとのつながりを表現しており現在、世界が直面している<自然と人類>の深刻な対立とも類似点があります。 ラーシュ・オイノ



### グルソムヘテン劇団の今までの来日公演

- 2015 イブセン 未完のオペラ『山の鳥』①
- 2016 イブセン 未完のオペラ『スヴァンヒルド』②
- 2017 『I is Another ～アフリカのアルチュール・ランボー』③
- 2018 『アマゾナス』④
- 2019 『Last Song』フランスの詩人 ロートレアモンを描く⑤
- 2022 『大鴉』エドガー・アラン・ポー作品⑥
- 2024 プレヒト 『肝っ玉おっ母とその子供たち』⑦



2025年

4月10日(木)～13日(日)

劇場 東京・両国 シアターXカイ

tel 03-5624-1181 fax 03-5624-1166  
info@theaterx.jp http://www.theaterx.jp

4 /	10	11	12	13
	THU	FRI	SAT	SUN
14:00	●	●	●	●
19:00	●	●	●	●

シアターX自主企画公演  
1,000 YEN

全席自由 1,000円



〒130-0026 東京都墨田区両国2-10-14  
JR総武線両国駅西口から左へ3分  
地下鉄都営大江戸線両国駅A5出口8分

